

申請者	大阪府ほか 2 自治体					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	315,000千円 (105,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	万博で披露された最先端技術等について、大阪・関西が強みを有する分野を中心に、オール関西で実装化を加速させるため、経済界、国、関西広域連合、大阪府、大阪府で構成するトップマネジメントの会議体を設置し、そのもとで具体的な実装化に向けたプロジェクト型の支援を実施することで、実装化・産業化を推進する。また、万博で披露された技術等の実装化を進めることで、大阪・関西ひいては日本の持続的な成長につなげていくことを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 トップマネジメントによる会議体の運営と実装化業務を担う組織の設置・運営を行う。具体的には、経済界、国、関西広域連合、大阪府、大阪府で構成するトップマネジメントの会議体「未来創造会議」において、最先端技術の実装化に向け、オール関西で取り組むべき事項（分野・プロジェクト等）を決定する。また、分野ごとにプロジェクトリーダーをおき、プロジェクトの支援方針（ロードマップ等）を策定し、関西の様々な関係機関の資源を活用しながら、伴走型支援を実施する。さらに、実装化業務を担う組織「運営委員会」を設置し、運営する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・実装化プロジェクト推進に係る費用 105,000千円 （実装化業務を担う組織に負担金として拠出） 万博で披露された最先端技術等について、大阪・関西が強みを有する分野を中心に、トップマネジメントの会議体を設置し、そのもとで具体的な実装化に向けたプロジェクト型の支援を実施する。						
主なKPI	① 関西が強みを有する分野を中心に創設される実装化プロジェクトに関わる企業・団体数（+ 180団体） ② プロジェクト支援のために連携している機関数（+ 50団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.osaka.lg.jp/020040/kikaku_keikaku/tihou-sousei/index.html

事業概要：中国地域インバウンド誘致強化促進プロジェクト

新規

申請者	鳥取県ほか 4 自治体					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	123,000千円 (41,000千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業		
目的・効果	政府が掲げる2030年の訪日外国人旅行者数6,000万人実現に向けて、都市部から地方への誘客を促進するため、中国地域におけるインバウンドの広域周遊観光施策を磨き上げ、中国 5 県の官民が連携して設立した「中国地域観光推進協議会」において、中国地域へのインバウンド誘致を強化・促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①広域プロモーションなど海外情報発信の強化 ・中国地域の特色を活かしたブランド設定、広域周遊ルート設定等を行い、台湾を中心とした東アジアに加え、訪日意欲の強い東南アジアなど他市場を念頭に、観光関係者と連携した F A M や商談会・交流会、旅行博やインフルエンサーなどを活用した情報発信等を強化。 ②広域周遊の促進に向けた事業展開 ・多様なモビリティの移動環境整備を促進し、民間企業と連携した周遊性を促す商品開発、レンタカーを活用した旅行商品造成等を行うとともに、受入環境整備に向けた案内所研修会実施など、中国圏内における広域周遊の促進に向け、デジタル技術を活用した事業を強化。						
	【R8年度事業 経費内訳】 1 広域プロモーションなど海外情報発信の強化 27,000千円 ①明確なブランドコンセプトの設定 4,000千円 ②広域プロモーションの統一化 6,000千円 ③広域周遊ルートの設定 4,000千円 ④中国地方インバウンドフォーラムの開催 9,000千円 ⑤海外現地での商談会・交流会 2,000千円 ⑥旅行博を活用した情報発信 2,000千円 2 広域周遊の促進に向けた事業展開 14,000千円 ①交通事業者等（JR西日本、両備HD、JTB等）と連携した商品開発・販売促進 6,000千円 ②レンタカーでの周遊促進事業（域内外空港からの移動手段確保）7,000千円 ③外国人観光案内所研修 1,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①中国地方における外国人延べ宿泊者数（+ 560千人泊） ※2024年の中国地方における外国人延べ宿泊者数：約2,800千人泊の1.2倍を目標と設定。 ②中国地方における一般客（観光・レジャー目的）の訪問地別1人1回当たり旅行消費単価（+7,666円） ※2024年の中国地方における一般客（観光・レジャー目的）の訪問地別1人1回当たり旅行消費単価：38,332円の1.2倍を目標と設定。					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.tottori.lg.jp/243658.htm

※鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県の広域リージョン事業